



世帯数 6,073戸  
人口 13,969人  
(令和4.1.1現在)

# 第44回寿地区文化祭開催

令和3年11月7日～12日にかけて、寿公民館和室で第44回寿地区文化祭が開催されました。

今年度はコロナ感染対策を講じて、公民館1階の和室のみで作品展示・動画放映を行いました。

高齢者・障がい者施設、寿小学校、寿公民館登録サークルを含め、計30団体が作品を展示。それぞれ思い思いの作品が和室中に展示され、来場者の皆さんは「素晴らしいな」と感嘆の声を上げていました。

動画放映について、事前に団体に撮影していただいた動画をDVDにまとめ、テレビで放映するのは初めての試みでしたが、来場者の皆さんは家族や友人たちの活動発表を楽しく観ていました。

今年度は、来場者に文化祭の感想をりんごの付箋に書いて木を描いた模造紙に貼っていただく「感想の木」を設置

しました。

コロナ禍の中で試行錯誤したり反省したりする部分はありませんでしたが、地域の皆さんの協力で、やれることをやれる形でできた文化祭になったのではないのでしょうか。

【寿公民館】



花の会の生け花



高齢者・障がい者施設の模造紙作品



来場者は計190人でした!



寿小学校3・4年生模造紙作品



「感想の木」に感想を書く様子



ステージ発表団体の動画を放映



寿公民館登録サークルによる作品

## 令和4年新年祝賀会を開催

令和4年を迎え、1月4日(火)に寿公民館大会議室にて新年祝賀会を開催しました。

出席者は、松本市会議員の、出席者は、松本市会議員の、今井ゆうすけ氏、塩原孝子氏、上條一正氏、財産区議員・町会連合会・公民館長会・民生児童委員の皆さんほか、合計59名になりました。寿公民館の正面玄関前にて記念撮影を行った後、新年会では百瀬泰雄寿地区町会連合会長、議員3名の皆さんから新年のご挨拶をいただきました。

## 寿地区新年祝賀会



新型コロナウイルス感染防止の観点から昨年に引き続き挨拶のみとなり、終了後は出席者全員に有名店の栗おこわ弁当をお持ち帰りいただきました。

【寿公民館】

# わがまち癒しの場

豊町の「ぬくもり喫茶むくの木」を紹介します。市営団地の南側、豊町公民館の裏にあります「むくの木」は、障がいのある人も皆自分らしさを大切に過ごせるように支援活動されている「ハートライオンまつもと」の就労事業のひとつです。喫茶店以外に受注された箱の組み立てやデザインから縫製・染色まで全て手作りのものを喫茶店で販売したり、農業のお手伝いや清掃の仕事などもされています。「むくの木」に入ると、手作りされたバッグやストールなどが所狭しと並び、販売されています。どれも美しく優しい色合いで染色され、可愛らしいデザインです。店内はガラス張りで見え、落ち着きます。メニューは豊富で、定番のカレーや日替わりランチ、季節によって具材が変わるピザなどの食事系のものや毎月



豊町の「ぬくもり喫茶むくの木」を紹介します。市営団地の南側、豊町公民館の裏にあります「むくの木」は、障がいのある人も皆自分らしさを大切に過ごせるように支援活動されている「ハートライオンまつもと」の就労事業のひとつです。喫茶店以外に受注された箱の組み立てやデザインから縫製・染色まで全て手作りのものを喫茶店で販売したり、農業のお手伝いや清掃の仕事などもされています。「むくの木」に入ると、手作りされたバッグやストールなどが所狭しと並び、販売されています。どれも美しく優しい色合いで染色され、可愛らしいデザインです。店内はガラス張りで見え、落ち着きます。メニューは豊富で、定番のカレーや日替わりランチ、季節によって具材が変わるピザなどの食事系のものや毎月

変わるケーキや寒い時期はおしるこなどのデザートがあります。ドリンクの種類も多く、コーヒーは、店で豆をひいてサイフォンで落としたものを頂けます。また、お弁当の仕出し(要予約)や、5月11月の毎週水曜日には三才山の農家の方から仕入れた野菜の販売が行われます。どれも手作りや季節にこだわりの皆さんが丁寧に作っている「ぬくもり」を感じるお店です。居心地が良く、ついつい長居してしまう、そんな空間なので常連の方が多いというの納得します。

コロナ禍で外出が減り、人とのつながりも少なくなり、元気がないこともある日々が続いています。「むくの木」は、胃袋だけでなく、心も満たしてくれて、そんな場所です。ぜひ、足を運んでみて下さい。

【館報編集委員会 岡村次子】



営業時間 月～木/10時～15時 火/10時～13時 ※ランチは11時～

## 見守り活動により善行表彰を受賞

令和3年11月1日(月)、Mウィングで第64回まつもと市民祭表彰式典が開催されました。寿地区では、他の模範となる善行をしたとして、竹測町会の武田繁樹さんが表彰されました。多年にわたり、「竹測子ども見守り隊」の隊長または隊長として寿地区の通学路で登校時の児童の見守りに取り組みました。元気に挨拶をする子どもたちと、心の交流を続けています。

【寿公民館】

## 192サロン運営委員会 ボランティア団体表彰を受賞

令和3年度、設立19年を迎えた「子育て支援192サロン運営委員会」が、社会福祉に尽力したとして「県社会福祉協議会会長表彰」を授与されました。表彰式には筆頭副支配人(寿地区主任児童委員)の曾根原紀子さんが出席し、市社協の小林弘明会長から表彰状を受け取りました。



表彰状を授与される曾根原さん(左)

【寿公民館】

## 寿地区地域づくり協議会 困りごと調査の報告

令和4年10月から本稼働を予定している「有償ボランティアサービスマスター」に向けて、寿地区地域づくり協議会の「生活支援体制整備プロジェクトチーム」による活動が進んでいます。

地区内での助け合いサポート事業を進めるにあたり、そもそも高齢者の皆さんは何に困っているのか。実態を調査するため令和3年8月から10月にかけて、寿地区在住の一人暮らしの高齢者の方等を対象に、民生児童委員の皆さんが生活する中での困りごと調査を実施しました。



芝山稔議長 武田繁樹さん 臥雲義尚市長

## クリスマスリースを 作りました!

12月13日(月)、寿公民館講座「クリスマスリース講座」を大会議室で開催しました。竹測町会の竹測那美先生を講師として、当日9人の参加者が、苦戦しながらも楽しんで制作していました。



集中してリースを制作する参加者

調査の結果、町会によって違いはあるものの、全体的に雪かき、庭の草取り、ゴミ出しに困っているという回答が多く、その他心配事を含め234名の皆さんから回答を得ることができました。「今は問題ないが将来的に心配」という声もあり、今後はこの結果を踏まえ地元でサポートできる住民の養成等の体制強化が重要視されています。

困りごと調査の詳細は、12月に全戸配布した「ことぶき地域づくりだより」をご覧ください。

【寿公民館】